

第8回議会報告会
報 告 書

平成26年7月
西 脇 市 議 会

平成26年5月18日(日)の日野地区・サンパル日野での開催を皮切りに、5月29日(木)の芳田地区・水尾町公民館での開催に至る11日間に渡って8地区8会場で、第8回議会報告会を開催しました。

参加者総数は367名と第1回以来の数となりました。

これは議会の改選があったことと、今回は通常の定例会の報告に加え、意見交換会を実施しましたので、参加者数が増加したものと分析をしています。

ただ、意見交換会も初めての試みであったため、不備もあり、参加者のみなさんの期待に充分応えられたとは言い難いと感じています。

次回以降、さらなる磨きをかけて意見交換会に臨みたいと思う次第です。

また、次の秋(11月予定)の議会報告会に向けて、すでに班編成と担当地区を決めています(巻末に掲載しています)。

約半年前から担当地区を決めることで、その地区の課題や案件をより深く知り、考え、意識して活動できるようにするためです。

より一層、担当の地区に精通できるものと考えております。

また、さらに各議員の約半年間の活動成果として議会報告会(及び意見交換会)があるという位置づけも考えてのことです。

さて、この報告書は、各会場で出された意見や質問をベースにして、常任委員会等で議論した結果をまとめ記載しています。

もちろん、中長期的に取り組む課題もありますが、現時点での状況や考えなどを記載しています。

また、各会場でご回答いただいたアンケートの分析結果も記載しています。

この報告書を通じて、西脇市議会への理解が深まることを期待しています。

西脇市議会

議長 林 晴 信

1 班：中川正則（班長）・古西祐子・村岡栄紀・岩崎貞典

●日野地区（サンパル日野） 5月18日（日）19：30～

参加者数 69名

【意見・質問等】

・自治基本条例に関しての「市民」の定義がでるたびに、ずっと議論するくらいなら自治基本条例など必要ないのではないかと、廃止したほうがいいのではないかと？

《回答》

6月17日開催の総務文教常任委員会で、自治基本条例の「市民の定義」について検討いたしました。自治基本条例上の市民の定義が他の条例と整合しているかについて、理事者（行政）からは、全条例中に「市民」が記載されている条例は全部で52条例、そのうち、改訂が必要な9条例のうち4条例は3月議会で改訂済、残りの5条例は本6月定例会で審議中です。残り43条例については改訂不要。との答弁を踏まえ、「自治基本条例の市民の定義を変える必要は？」について委員間で討議した結果、「現行のままでよい」が6名、「現行のままでは問題がある」が1名で、現行の規定としていくことになりました。

・早急に市民会館、カルチャーセンターのトイレを高齢者に配慮した洋式にしてほしい。

《回答》

総合市民センターの男性トイレ数は、和式18：洋式6で、女性トイレ数は、和式28：洋式7という割合になっています。

また、市民会館では男性トイレ数は、和式9：洋式4で、女性トイレ数は、和式17：洋式4という割合になっています。

洋式トイレを嫌う方もあることから現在の比率となっています。市としての和・洋比率基準はありませんが、今後、機会をみて洋式トイレの増設を検討する予定とのことでした。

・みどり園の平成28年問題は、市の方針を聞かせてもらわないと、町としても協議のしようがない。

《回答》

地元に説明がないという件に関しては、2月5日の対策協議会において、市長の冒頭のあいさつの中で、今後10年をめぐりに広域化を目指しているとの報告をしています。（この協議会には、通常、市長は出席しないそうです）また、みどり園からは、平成28年度からテーブルに着くために協議していくとの回答を得ています。

また、議員より「もし3町が合意しなければどうなるのか。また広域行政に

なると、みどり園ではなく、市が中心となると考えるので、広域行政に関しては、出来るだけ早く方向性を示して、地元の方への説明と協議に入ることを要望する」という意見も出ました。

・鍛冶屋線跡地道路化に関しては、約 20 年間懇願し続けている問題である。西脇市で一番利用価値が高いと考えているので、国や県に頼らず、市の独自の事業としてやってもらいたい。

《回答》

継続して期成同盟会を通じて県に要望していますが、県の順位としては上位に挙がっていないので、取り組みは難しいとのこと。 (県の社会基盤整備プログラムには交差点改良として先日発表されました)

市としては、早急に整備してもらおうよう、県に粘り強く要望していくとのこと。また、市の独自の事業にすればできないか?ということに関しては、ある一定の時期に県と市との間で協議して方向性を出さなければならないと考えていますが、市道に払い下げるための条件等を勘案すると、今のところ難しいと考えています。

また、議員より「県整備は難しいのではないかと考える。となれば、整備するならば市がやるということになるが、事業費も6~8億円規模になる。全市民的な理解を得るためにも、日野地区住民あげての強力な要望活動が必要なのではないか」との意見が出ました。

●津万地区(大野隣保館) 5月19日(月) 19:30~

参加者数 27名

【意見・質問等】

・自治基本条例の市民の定義において、たびたび市民の定義を再確認しないといけないことはおかしい、もう少しわかりやすくなるよう検討してほしい。

《回答》

日野地区での意見の回答と同じですので、参照してください。

・農業振興の中で、西脇市の現状や今後の状況について知りたい。今後盛んになるのか、先細りになるのか、また若い人の農業への転業等、わかれば教えてほしい。

《回答》

農業振興に関しては、西脇市農業ビジョンに沿って進めていきます。またビジョンに関しては、農会等で説明していますが、まだできたばかりなので、一年かけてしっかりと周知していきたいとのこと。またビジョンの中身においては、西脇市のブランド化を進めていきたい、山田錦、金ゴマ、黒大豆、黒

田庄和牛、イチゴ等産地の育成を図っていききたいとのことです。

若手の担い手に関しては、スイーツファクトリー事業（今年度2名）などを通じて育成していききたい、また西脇市の畜産物等を生かした6次産業化、農商工連携、地産地消等を図っていききたいとのことです。

・市が出資している土地開発公社の保有土地を、また市が金を出して買い取るとはどのようなことか？二重に金を出していることになるのではないか？また買い取った茜が丘の宅地を市の財産にしてどうするのか？あとの使い道は考えているのか？

《回答》

土地開発公社が保有していた土地の購入代金は、民間銀行等からの公社独自の借入金です。本来、土地開発公社が先行取得した土地は、5年以内に市が買い取るのですが、数十年に渡って放置されてきました。市は公社の土地の購入代金＋借入金利子＋事務経費を市のお金で買い取り、市の財産としたのです。ですから、二重の支払いとはなりません。

市の保有財産とするメリットは、第一に銀行への借入金利子が発生しないこと、さらには、使命を終えた土地開発公社の解散です。

また、買い取った土地は分譲宅地ですので、基本的には、今後も宅地として売っていかねばなりません。

・天神池北側の埋め立てされた部分を有効活用する計画はあるのか？

《回答》

平成24年の激特事業により、埋め立てが行われましたが、その活用に関しては決まっていません。斎場建設時の条件（R175号線と天神池の間に遊歩道を設置するように指導されている）として、地域の方（地区の区長さん等）と協議して、遊歩道の設置も含めた協議を今年度中に実施したいと考えていますとのことです。

また議員より、「地権者である地区の区長さんだけでなく、地区全体の問題として話した方がいいのではないか」との意見がありました。

・やすらぎ苑入口の交差点付近に葬儀業者の看板が8つも建っている。中には無許可も含んでいると聞いている。地区としてはまちづくりの拠点地域として考えているので、撤去を指導してほしい。

《回答》

市内の看板設置については、西脇市が県から委託を受け、許可証を発行しています。特定の業種について看板設置を規制することは法律上出来ないとのことです。無許可看板については、指導していくとのことです。

2班：村井公平（班長）・東野敏弘・浅田康子・宮崎春貴

●重春地区（板波町公民館） 5月21日（水） 19：30～

参加者数 56名

【意見・質問等】

・イチゴ栽培の事業（スイーツファクトリー事業）が新たに設けられているが、事業の具体的な内容を聞きたい。また生産したイチゴの販路は決まっているのか？

《回答》

市がイチゴハウスを建設し2名のイチゴ栽培希望者を募集して、2年間、落方町篠田いちご園の指導で研修を行い、自立してイチゴ栽培に従事してもらいます。10年間事業を継続し10名の新規就農者を育成し、イチゴ団地を形成する計画です。当初は、研修施設として考えているので、現時点では販路は考えていないとのことでした。

・旬菜館は赤字が続いている現状で、地元産品のみの販売になっていると聞くが本当か？お客の立場になれば、すべての食材が揃ってないと不便である。採算面から考えれば、やっていることの意味がわからない。商品が揃っていないのに売上を上げろとは無理な話だ。地元産のものだけでは買いに行かない。旬菜館がつぶれたら農業振興にもならない。本末転倒である。

《回答》

旬菜館の設置目的は農業振興の拡大であるため限定的になっています。今年から生産者が株式会社を設立し、指定管理を受け経営しています。550万円の赤字予算となっていますが、市も農業ビジョンを策定し、農業振興の拡大に努力しているので議会ではもう少し見守っていくことで可決されました。

・図書購入費 3000 万円の内容はどうなっているのか？また、次年度の予算は同じ額になるのか？専門書などを揃えると 3000 万円位はすぐに使ってしまう、新しい図書館を充実させるには予算もいると思うが。

《回答》

問題解決のための資料案内であるレファレンス業務にも力を入れていくので、これに必要な書籍類、主に専門辞書の部類や、小説、健康・料理等のハウツー本なども揃えていきます。また、児童館と併設になるため、児童書や絵本も充実させていきたいと考えています。

新刊本の中から図書館司書が、本の利用度を協議しながら決定していく方法の他に、利用者のリクエストに応じていく方法も進めます。

3000万円の予算は、オープンに向けて充実させた点が大きいのですが、

今後、図書が新しくなったことを印象づけるためにも、蔵書数の1割から2割程度は入れ変えていく必要性があり、それに見合った予算を考えていかなければならない、とのこと。

・西脇はT字路が多い。国道は産業道路であるが、JR鍛冶屋線跡地を生活道路として背骨の通った道路としての整備をして欲しい。西脇市駅から日野へ抜ける道がある。市外から来られた人にわかりやすい道がある。トンネルが出来て加美区からは柏原のゆめタウンへ行く方が容易であると聞く。選択と集中で費用対効果・経済効果の高いところに道をつけると良い。

《回答》

都市計画道路として認定も受けている西脇明石線のアピカ西脇以南については、移転補償費が高額になることもあり、中座しています。今後、市内の道路全般について、市として道路整備に優先順位を付け、整備していく必要があると考えているとのこと。

・子ども見守り隊をしていて、登校時7:40頃谷町を出発するが、藤和ホームの前あたりの道が非常に危険である。車の数が大変多いのと、ドライバーのマナーが悪い。子どもが横断歩道にいても止まらない。警察にも信号設置の要望をしているが困難なようだ。大変危険を感じているので対策を講じてほしい。

《回答》

現場を確認しましたが、信号機の設置は難しいと思います。ただ、車の通行量が多く、危険性を感じましたので、学校とも連絡を取り、今後、見守り隊の方や学校、地域とも連携して、通学の安全に努めていきたいと思っております。

・消防団に入ってもらえる人や、犬の飼い主にフンの始末のことで困っている。飼い主に集まってほしいと思っても、個人情報保護で名簿がなくて分からない。理由がはっきりして区長から要請すれば、他に使わないので、市からの名簿提供をするよう検討ができないか？

《回答》

犬のフン処理については、これまで、チラシ等で飼い主に啓発を行ってきたが、あまり効果が上がっていないとのこと。6月19日以降、保健衛生推進委員が呼びかけ人となり、町ごとに犬の飼い主を集め、説明会をもつ予定とのこと。

また、議員から、「市が、飼い主に直接、周知することも必要ではないか。個人情報保護条例の関係で、区長さんや民生委員さんの仕事ができにくくなっている現状を踏まえ、何らかの対応が必要ではないか。そのための検討を内部的に進めていただきたい」との意見がありました。

・和布～郷瀬線の道路(南北道路)の話は20年前からでているが、現在も計画が残っているのか？

《回答》

国道427号の西脇道路が優先で、地元の要望は聞いていますが、具体的な計画は出来ていません。

・童子山の配水池撤去後の計画はどうなっているのか？

《回答》

本年度、西脇地区のまちづくり計画の見直しの年なので、そこで新たにまちづくり計画が出来ると思います。それを待って計画を進めていく予定です。

●比延地区(こみせん比也野) 5月25日(日) 13:30～

参加者数 27名

【質問・意見等】

・今日の報告会でも参加者が男性のみなのが異常である。織物まつりでも壇上は男性ばかりである。市の会議でもそうだが、多くの人、特に女性の意見を聞くことが大切である。女性が出てこないのは、根本的なところに問題があるのではないか？

《回答》

市においては、男女協働参画のうえからも、委員会、協議会、公的な委員等の選出にあたり、30%を目標に募集や依頼をしています。届いていないのが現状です。自治会においても女性の区長が出ないように、そういった場所への女性の進出は困難なようです。ただ、最近、老人会で女性が会長をされている町が少しできたと聞いています。引き続き、市の公募委員などでも女性の参加率が30%を下回らないように努力していきます。

・誘致をしている上比延工場公園に入る道路が狭くて、工事トラックなどセンターラインを超えて走っている。道路整備をするのが先ではないか？

・工場公園への進入路の青写真はどうなっていたのか。そもそも、どういった構想で作られたのか？市が、こういうふうにしたいと言う形を見せて欲しい。又、企業誘致の進捗状況を知らせて欲しい。

《回答》

以前からこの問題は指摘されてきました。県道西脇篠山線の上比延町内の道路拡幅が検討されていましたが、現在では5ヶ所の待避所を設ける方向になっています。全線2車線化が必要であると要望はしていますが、兵庫県社会基盤整備プログラムには計上されていないのが現状です。

また上比延工場公園への侵入道路は、国道175号上戸田信号から鹿野大橋

を渡り、県道黒田庄多井田線を通り、市道を走ることになっています。その際、鹿野町内の道路狭隘箇所の解決が必要であると認識しています。

企業進出計画については、上比延工場公園は、西日本コクボの敷地を除き、約3.2haが残っています。この間、企業からの問い合わせが3件あり、1件は現地案内を行っています。また直接見に来られた企業も2社あります。

・消防団のことですが、昼間の火事の時に出勤出来る人がいない。駐在所のような施設設置して、黒田庄地区のように専門の人を配置してはどうか？

・堀町は、100軒ほどの町です。年300万円ほどの町予算で運営している。そのうち、消防に係る費用が、償却も含めると年間50万円程度かかり負担になって来ている。消防団の理想の形を検討してほしい。

《回答》

黒田庄駐在所は救急車が常設していますが、消防車は常設していません。今後、加東消防署が西脇市寄りに移転することなので、西脇消防署も建て替えの際には移転も検討されると思うので提言していきます。

また、少子高齢化で消防団員が少なくなり、比延地区においても鹿野部と高嶋部が統合されると聞いています。市としては、要請があれば消防力を維持する方向で、統合を進める計画と聞いています。また、消防団に入ってもらおう家族の方からも協力していただきたい。

さらに、機能別消防団員の加入依頼等も行っていただいても、まだ団員確保が困難な場合、申し出いただき、合併を含めた消防団と町との話し合いの場の調整役を市が担っていききたいとのことです。

・幼保一元化については社会福祉法人の比延保育園と幼稚園の合併の望ましいかたちを知らせて欲しい。理事は素人であるし高齢でもあるため、保護者の意見や考え、又、幼保一元化の内容もよくわからないので情報を提供していただきたい。

《回答》

市では、新しい認定こども園設置に向けて、子ども・子育て会議を設置して検討を行っています。9月には方針が決定され、条例案が提案される予定と聞いています。それぞれの時点で保育園には報告されるものと思っています。

・昨年末の子午線マラソンの時、弁当が引き換え券より少なかった件について、ボランティアとして行っているため、いろいろ問題はあったと思うが、議員から指摘されることが心外である。今年からは、弁当を作るのを止め、沿道からの応援に変えます。黒田庄も含め、もっと広範囲でかかわって欲しい。マラソンの日は朝6時ごろから準備にかかっている。議員は、準備や裏仕事をしているところを見て欲しい。もっと地区の中に目をむけてほしい。この件の回答は必要ありません。

・庁舎建て替え問題については、災害対策本部となる庁舎でもあるので、丈夫な建物になるよう希望する。

3班：高橋博久（班長）・高瀬洋・坂部武美・村井正信

●黒田庄地区（岡あいあいセンター） 5月27日（火） 19：30～
参加者数 35名

【質問・意見等】

・篠山川と加古川の合流点が改修され、井堰も新しくなったため、新たに土砂が堆積している。18号台風のような被害が出ないよう災害対策を進めていただきたい。

《回答》

激特地域以北については、順次、土砂の除去等をする予定になっています。また、福地地区については、ポンプ設置場所がないと聞いています。補正予算をつけて設置場所等の調査をしているので調査結果が出るのを待ってほしい。

・つくしバスの車両2台が古くなっている。1回当たり3人未満であるが、黒田庄は買い物できる場所が少ないため、運行は継続したい。

・黒田庄地区としては、今まで通り運行を継続したいと思っており、バスの更新等をどうするかは、市と調整していきたい。

《回答》

市としては、西脇市地域公共交通会議の中で、つくしバスの今後の運行を捉え進めていくので、黒田庄もこの会議のメンバーに入っていただきたい。

議会としても、継続して今後の動向をみていきたいと考えています。

●芳田地区（水尾町公民館） 5月29日（木） 19：30～
参加者数 55名

【質問・意見等】

・明楽寺～水尾橋までの道路（市道上王子明楽寺線）の混雑回避について

《回答》

県道に通行を誘導する標識を明楽寺交差点と水尾橋交差点の2か所に付けることを警察と調整中とのこと。議会としても引き続き状況を精査していきます。

・農業集落排水を公共下水道につなぐ件について

《回答》

農業集落排水と公共下水道の接続については、平成28年度から統合に向けて調査を開始します。また、小野市内にて、不明水の流入事故がありました。現在、その原因調査と合わせて、市内の流域9か所において、下水道の流量調査を実施しています。

・平成26年度の芳田地区の予定事業は？

《回答》

- ・上王子～落方線の改修（通学路の整備）
- ・小山地区のほ場整備に合わせ、道路を堤防の上にかさ上げし車が通れるようにします。
- ・ニヶ坂の道路改修
- ・直売所のトイレ設置が候補にあがっており、調整中。
- ・馬事公苑に関する事業として、水尾三叉路の舗装工事の計画があります。
- ・芳田橋周辺の公園化と駐車場の設置

・建物の建築等は、播州織関係などの地場産業がらみだと建て易いが、そうでないと許可が出ない。個人的な軽微な増改築を、もう少し自由にできるようにならないのか？

《回答》

1つの方法として、日野地区などでは、市街化調整区域の中で地区計画を策定して、弾力的な運用を図っています。

4班：寺北建樹（班長）・岡崎義樹・松本和幸

●野村地区（野村町公民館） 5月26日（月） 19：30～
参加者数 43名

【質問・意見等】

・「産業立地促進措置条例の一部改正」に関して、本会議において、反対討論はあるが、賛成討論がない。それなのに、賛成多数で可決とは、おかしいのではないか？

《回答》

議会の中でも、できるだけ賛否両方の討論を行うように申し合わせています。

・関連して、原材料である水道料金に補助を出すのは納得できない。西脇市民を雇用すれば、給与の半分を出すなど、他の方法があるのではないか？

《回答》

以前から固定資産税等の減額免除措置があります。

・西脇市駅周辺の開発問題は、どうなっているか？

《回答》

もう一度、ゼロベースで仕切り直す、ということです。

・市駅の説明会に出席して、JRに対する市役所の弱さを感じました。野村町には幼稚園から高校まであり、学園都市です。あちらこちらから西脇の高校に通っていて、東側に降りて線路を渡っている。安全面からいうと西側に作ってほしい。是非とも力を入れてください。

《回答》

JRから見ると、加古川線はどういう位置にあるのか、本当に大事な位置なのかということでしょう。沿線のそれぞれの駅舎はほとんど地元の自治体がお金を出して改築しています。西側を作ることは、野村町の悲願とも言えます。交通網はどうするのか？広場、駐車場をどうするのか？どれぐらいのお金をかけたらできるのか？を考えていかなければならないと思います。

西脇市駅及び周辺整備の今後の取り組みについては、東側駅舎改築についてのJRや地元との協議を行い、できるだけ早く実現するとのことです。市駅西側の整備については、住民との意識にギャップがあり、継続して協議し、理解を得たいとのことです。地区計画や区画整理などのまちづくり手法の検討も行い、課題整理を行うと聞いています。

・市側が西脇市駅構想を計画したにも関わらず、まったく力を入れてくれない。JRも何も応援してくれない。市として、何かほかにできることはないのか？周辺の道を計画するとかを考えてほしい。たとえば踏切から文林までの道を拡幅整備するなど、通学路として整備してほしい。

《回答》

あの道は、20数年前に拡幅計画がありました。国の予算はついていましたが、地元の用地買収がうまくいきませんでした。そのかわりに、文林から工業高校側の用地を買収して歩道を付けました。用地買収での協力が最後の決め手になると考えます。

<庁舎建て替え問題>

- ・健康ランド、カナート、タワージャズなどの大きな建物の使い道があるのか？市役所を建替えるなら、そうした跡地を利用してはどうか。
- ・第一染工の跡地を利用して、市役所、市民会館、重春幼稚園、春日保育園などを集約してはどうか。
- ・現在地で建替えるなら、仮設の費用もいるので、高くつく。新たな場所の方がいいのではないか。

(議員)

本庁舎を使いながら、市民会館を取り壊して、その跡に庁舎を建替えるという案もあるのではないのでしょうか。

- 西脇地区（センティア西脇） 5月27日（火） 19:00～
参加者数 55名

【質問・意見等】

- ・特別養護老人施設を公立でできないのか？

《回答》

法的には可能ですが、市の方針は民間でできるものは民間で、という考えがあり、現実的には難しいだろうと考えます。

- ・150億円で西脇病院を建設したが、借金が返せるのか？
- ・現在、市全体で500億円ぐらい借金があるのか？ちゃんと返せるのか？

《回答》

年次計画的に返済しています。

(主だったもの)

- 一般会計 平成25年度末残高 177億8千4百万円

今後10年間の償還額						(単位 千円)
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	5年間小計
元金	1,531,403	1,537,529	1,439,672	1,485,077	1,391,671	7,385,352
利子	219,321	197,794	175,931	155,969	136,738	885,753
合計	1,750,724	1,735,323	1,615,603	1,641,046	1,528,409	8,271,105
					残	10,398,920

平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	5年間小計	10年間合計
1,260,958	1,181,516	1,082,403	1,014,130	868,487	5,407,494	12,792,846
119,590	105,095	91,834	79,780	68,272	464,571	1,350,324
1,380,548	1,286,611	1,174,237	1,093,910	936,759	5,872,065	14,143,170
					残	4,991,426

●水道事業会計 平成25年度末残高 24億7千5百万円

今後10年間の償還額						(単位 千円)
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	5年間小計
元金	149,889	161,162	168,461	175,534	181,520	836,566
利子	71,705	66,491	60,967	55,215	49,229	303,607
合計	221,594	227,653	229,428	230,749	230,749	1,140,173
					残	1,639,292

平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	5年間小計	10年間合計
181,030	187,146	178,006	179,098	140,641	865,921	1,702,487
43,099	36,983	30,811	24,979	19,401	155,273	458,880
224,129	224,129	208,817	204,077	160,042	1,021,194	2,161,367
					残	773,371

●下水道事業会計 平成25年度末残高 242億4千2百万円

今後10年間の償還額						(単位 千円)
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	5年間小計
元金	1,367,820	1,372,845	1,400,857	1,425,950	1,437,513	7,004,985
利子	505,451	474,172	443,419	412,039	380,170	2,215,251
合計	1,873,271	1,847,017	1,844,276	1,837,989	1,817,683	9,220,236
					残	17,237,345

平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	5年間小計	10年間合計
1,443,516	1,453,601	1,474,193	1,486,821	1,472,941	7,331,072	14,336,057
348,077	315,709	282,885	249,874	217,179	1,413,724	3,628,975
1,791,593	1,769,310	1,757,078	1,736,695	1,690,120	8,744,796	17,965,032
					残	9,906,273

●西脇病院事業会計（新病院建設） 平成25年度末残高 90億4千2百万円

今後10年間の償還額						(単位 千円)
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	5年間小計
元金	248,120	304,035	310,281	316,657	323,164	1,502,257
利子	184,512	178,893	172,646	166,271	159,764	862,086
合計	432,632	482,928	482,927	482,928	482,928	2,364,343
					残	7,539,896

平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	5年間小計	10年間合計
329,806	336,584	343,503	350,565	357,773	1,718,231	3,220,488
153,122	146,343	139,424	132,363	125,155	696,407	1,558,493
482,928	482,927	482,927	482,928	482,928	2,414,638	4,778,981
					残	5,821,665

●全体 平成25年度末残高 548億6千4百万円

今後10年間の償還額						(単位 千円)
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	5年間小計
元金	3,472,862	3,582,734	3,510,398	3,567,011	3,469,763	17,602,768
利子	1,018,837	951,128	882,523	814,796	746,907	4,414,191
合計	4,491,699	4,533,862	4,392,921	4,381,807	4,216,670	22,016,959
					残	37,261,952

平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	5年間小計	10年間合計
3,315,903	3,263,851	3,181,537	3,103,994	2,842,637	15,707,922	33,310,690
680,587	616,417	552,630	490,095	430,960	2,770,689	7,184,880
3,996,490	3,880,268	3,734,167	3,594,089	3,273,597	18,478,611	40,495,570
					残	21,554,030

・ストップマークやカーブミラーは、どこが管理しているのか？いろいろな方向を向いている。定期的に見回りしているのか？

《回答》

私たちが気が付けば担当課に言っています。市民の皆さんも気が付けば、町内会長さんを通じて言ってほしいと思います。

・都市計画道路は、一度決定したら二度と見直さないように思うが、到底できないような道路でも、取り消しができないのか？

《回答》

いったん決定した都市計画道路を廃止することは、基本的にできないと考えていましたが、平成17年の最高裁判決で地権者への長期間にわたる権利制限について疑問の補足意見が付され、それに伴い、兵庫県において平成23年に「都市計画道路網見直しガイドライン」が策定されました。今後、社会情勢の変化により、交通量の減少や、代替道路が整備され、不要になった路線などについては、都市計画審議会の意見を聞きながら見直しの検討を行っていくとのこと。

〈意見交換〉

・年5回の杉原川の清掃作業で、西脇区が300万円、豊川町が30万円貰っていたが、西脇区が100万円、豊川町が10万円に減らされた。町運営に支障が出る。責任を取ってくれるのか？今年からは、清掃が年2回になった。

《議員より》

県と市で1,000万円の予算。8地区総延長55,000mで割ったら、1m当たり182円になります。その単価を基準にしてほしいと要求しました。最終的

に、連合区長会等で議論され、合意に達したと聞いています。

・(西脇地区の清掃エリアは)ほかの地域と比べて、人口密度、人の見る目、見る回数、見る時間など、また、犬の散歩でたくさんの方が歩いている。あなた方の地域では草刈りのみが主である。「杉原川は公園なんです」と大きな声で言いたい。あとの3回の責任を取ってください。

《議員より》

公園としての位置づけで草刈りをしているのであれば、別のメニューで補助を受けるのが妥当と考えます。

・南北道路は、どのような計画になっているのか？

《議員より》

当面の計画はありません。

・今年、片山市長が(南北道路の)検討委員会を作る計画と聞いたが？

《議員より》

平成13年に作られた「え～まちやんか西脇」という「西脇市中心市街地活性化基本計画」では、第一に東西道路、第二に南北道路と位置付けられています。平成17年に作られた「西脇区まちづくり計画」では、東西道路と南北道路は同列に扱われています。しかし、西脇市総合計画の後期基本計画では、南北道路は入っていません。平成26年度に「西脇区まちづくり計画」の見直しが行われます。住民同士の利害が対立する問題でもありますので、その中で真剣に議論してもらえればと思います。

第8回議会報告会 アンケート分析（全体）

●議会報告会アンケート回答者（参加総数367人のうち285人が回答）

男性	216人(75%)	女性	19人(7%)	性別未記入	51人(18%)
----	-----------	----	---------	-------	----------

女性の参加が少ないのが課題です。いかにして女性に参加してもらうかを考えなければなりません。

30歳未満	40歳未満	50歳未満	60歳未満	70歳未満	70歳以上
3人(1%)	10人(4%)	43人(15%)	93人(33%)	110人(39%)	23人(8%)

50代から60代の参加者で大半を占めています。若い世代の参加をどうやって図るのが必要だと考えます。

●議会について

本会議を傍聴したことがある	インターネット中継を見たことがある	傍聴もインターネット中継も両方ともある	両方とも見たことがない
30(10%)	77(26%)	22(8%)	162(56%)

インターネット中継が「議会を見たことがある」中では一番多い。やはり議場まで出かけずに見ることができる利便性が反映していると思われます。しかし、半数以上のおみなさんが「両方とも見たことがない」というのが課題で、議会に対する関心の低さを物語っていると考えます。

●議会報告会を何で知りましたか？

チラシ	ホームページ	防災行政無線	フェイスブック	その他
181(54%)	34(10%)	30(9%)	11(3%)	82(24%)

議会報告会のチラシで知った人が多いようですが、「その他」も多い。これは区長会にも協力いただいているので、役職での参加や地区の回覧板で知った人も多いと思われます。

●議会報告の部について

わかりやすかった	わかりにくい、もっと工夫を	必要が無い	その他
121(46%)	116(44%)	13(5%)	15(6%)

「わかりやすい」と「わかりにくい」が拮抗。しかし、この数字は会場別でかなり差異が生じています。報告内容はほぼ同じだから、議員の経験と力量の差が出たといえます。評価の低かった会場の担当班の議員は大いに反省し、研鑽を積みねばならないと考えます。

●意見交換の部について

よかったように思う	もっと工夫が必要	必要が無い	その他
109 (41%)	135 (51%)	6 (2%)	14 (5%)

今回初めて行った「意見交換会」ですが、慣れていないので粗が目立ち、厳しい評価も多い。しかし、実は二つの班で低評価が上回っており、他の二つの班ではむしろ高評価のほうが上回っています。今後、ファシリテーション等の研修の必要性も感じるところです。

●共通テーマ「庁舎問題」「道路行政」について

活発な意見交換ができてよかった	もっと議論を深めたいと思った	今後どう活かされるのか興味をもった	低調な議論だった	議員のレベルが低い	そもそもテーマ設定が間違っている	その他
44 (16%)	78 (28%)	74 (26%)	42 (15%)	25 (9%)	8 (3%)	9 (3%)

「議論を深めたい」「どう活かされるのか興味をもった」を肯定的に捉えれば、良かったのではないかと思います。「低調な議論」「議員のレベルが低い」の評価も特定の担当班に偏っているので、それ以外では低評価は少なかったといえると思います。

今後の西脇市にとって重要なテーマなので、今回限りにせず、継続して両テーマについては意見交換をしていくべきだろうと考えています。

●地区テーマについて

活発な意見交換ができてよかった	もっと議論を深めたいと思った	今後どう活かされるのか興味をもった	低調な議論だった	議員のレベルが低い	その他
46 (16%)	88 (30%)	89 (31%)	43 (15%)	16 (6%)	8 (3%)

肯定的な評価が多いと判断できます。否定的な評価は共通テーマ同様、特定の担当班に偏っているので、その部分を修正強化すれば、今後も期待できる取組みといえるのではないかと考えます。

アンケート分析（地区別）

- 日野地区（担当：1班） 参加者数69名（アンケート回答50名）
50%の人が何らかの方法で議会を見たことがあると回答。
報告会を知ったのはチラシが52%、防災行政無線が9%、その他が28%

【議会報告の部】

70%の人が否定的評価をされているので、猛省と今後の研鑽が必要です。

＜参加者からの意見＞（抜粋）

- ・もっと短く、重点に！
- ・予算がわかりやすかった。
- ・そのまま（原稿を）読むのではなく、誰でも聞きやすい言葉にしてもらえると興味がわくと思います。
- ・議員活動の表面的な満足ツールとしてしか受け取れない。

【意見交換の部】

80%の人が否定的評価をされているので、猛省と取り組み方の再点検が必要です。

26%の人が「議員のレベルが低い」と評価されているので、次回、捲土重来を果たさねばならないと考えます。

しかし、「もっと議論を深めたい」が共通テーマで28%、地区テーマでも27%あるので、次回以降の取り組みが重要であると考えます。

＜参加者からの意見＞（抜粋）

- ・新庁舎は必要だと思う場所等議論を深めてください。
- ・国の予算補助があるだけで庁舎の建て替えというのは納得できない。
- ・（鍛冶屋線）跡地の道路化「要望があれば・・・」ふざけるな。
- ・意見交換会が議会にどう生かされるのかわからない。
- ・議論になっていない。
- ・みどり園問題どうなるの？提議してほしい。
- ・幼保一元化、ウィキペディア関係ない。
- ・庁舎建て替え反対。
- ・意見交換が議会に活かされる気がしない。
- ・無責任な議員発言、不確実な知識での発言が多すぎる。
- ・低レベル、話の順番が違う。
- ・若い人が他の市町村から来てもらえるような雇用対策を考えてほしい。
- ・質問に対して答えになっていない。
- ・議員の勉強不足。

- ・課題に対する議員の考え方や取組みの報告が欲しかった。
- ・テーマを出す気にならない交換会です。
- ・日野地区の方はかなり興味を持って勉強されている方が多く、(議員の) 対応にがっかりされている声がたくさん聞こえてきた。
- ・議会報告だけでよい、不確実な展開なら、テーマは不要。

●津万地区(担当：1班) 参加者数27名(アンケート回答23名)

62%の人が何らかの方法で議会を見たことがあると回答。

報告会を知ったのは、チラシが58%、市議会HPが18%、防災行政無線が12%。

【議会報告の部】

67%の人が否定的評価をされているので、反省と今後の研鑽が必要です。

【意見交換の部】

78%の人が否定的評価をされているので、反省と取組み方の再点検が必要です。

議論の進め方にもかなり問題があったように感じました。

<参加者からの意見>

- ・ほとんど議論ができなかった
- ・税の使い方をもっと工夫してほしい。
- ・市民の意見をもっと聞いてほしい。
- ・決定事項に反対しても通らないので、地区テーマを主にしてほしい

●重春地区(担当：2班) 参加者数56名(アンケート回答45名)

32%の人が何らかの方法で議会を見たことがあると回答。

報告会を知ったのは、チラシが52%、市議会HPが13%、その他が25%。

【議会報告の部】

60%の人が肯定的評価をされているが、さらなる工夫で肯定的評価を高める必要があります。

<参加者からの意見>

話の先を急ぎすぎと思う。

【意見交換の部】

57%の人が肯定的評価をされているが、さらなる工夫で肯定的評価を高める必要があります。

しかし、「もっと議論を深めたい」や「意見がどう活かされるのか興味を持った」の評価も多く、「議員のレベルが低い」や「低調な議論」という評価もほぼ無いので、初めての試みとしては良かったのではないだろうかと思います。

＜参加者からの意見＞

- 時間がない。説明が理解しにくい。
- 庁舎→新築の場合は高い負担に
- 議論の結果がほしい。
- 時間が短い、テーマを一つにしては。
- 議員の意思統一してほしい。
- 議員同士の意見交換し、正しい施策を。

●比延地区（担当：2班） 参加者数27名（アンケート回収22名）

62%の人が何らかの方法で議会を見たことがあると回答。

報告会を知ったのは、チラシが67%、市議会HPが5%、その他が29%。

【議会報告の部】

56%の人が肯定的評価をされているが、さらなる工夫で肯定的評価を高める努力が必要です。

＜参加者からの意見＞

- わかりにくいところ、わかるところもある。

【意見交換の部】

61%の人が肯定的評価をされているが、共通テーマで21%の「低調な議論」との評価もあります。ただ「議員のレベルが低い」という評価は皆無なので、今後は議論の進め方に工夫を加え、よりよいものにしていけばもっと評価は高まると思われます。

＜参加者からの意見＞

- 要望が多く返答がない点あり、意見ばかりでそのままになってしまう恐れあり。
- 時間がなかった（共通テーマ）
- どう活動してもらえるか（地区テーマ）
- 前もって各町の区長にテーマを提出できるようにまとめる。
- 意見をまとめて活動に役立ててほしい。

●黒田庄地区（担当：3班） 参加者数35名（アンケート回答28名）

57%の人が何らかの方法で議会を見たことがあると回答。

報告会を知ったのは、チラシが58%、市議会HPが21%、その他が12%。

【議会報告の部】

57%の人が肯定的評価をされているが、さらなる工夫で肯定的評価を高める努力が必要です。

＜参加者からの意見＞

- ・聞き取りにくい

【意見交換の部】

59%の人が否定的評価をされているので、反省と今後の取組み方を考える必要があります。

「低調な議論」という評価が36%もあることを考えなければなりません。意見をどうやって出してもらうか、汲み上げていくかというスキルを身につける必要を感じます。

＜参加者からの意見＞

- ・あまり意見が出なかった。もう少し意見が出れば。
- ・(共通テーマ) テーマが漠然としている。
- ・河川愛護(改修?)についてであれば、福地か前坂の公民館で開催すべきではないか。
- ・市長の市政報告会を開いてください。
- ・少子化対策、結婚対策をテーマにしてほしい。

●芳田地区(担当:3班) 参加者数55名(アンケート回答51名)

81%の人が議会を見たことがないと回答。

報告会を知ったのは、チラシが35%、防災行政無線が8%、その他が49%

【議会報告の部】

67%の人が否定的評価をされているので、反省と今後の研鑽が必要です。

＜参加者からの意見＞

- ・もっとポイントをしばって。儀礼的になっているのでは。

【意見交換の部】

71%の人が否定的評価をされているので、反省と取組み方の再点検が必要です。

「低調な議論」が26%もあることの意味を考える必要があります。「もっと議論を深めたい」や「意見がどう活かされるのか興味を持った」という評価は多いのですから。

＜参加者からの意見＞

- ・テーマが大きすぎて意見がまとまりにくい。

- 抽象的な回答になっているのでは。
- 時間が足りない。
- 提案の準備不足。
- 区長から市への提言がわかっていない。
- マスターベーションではないか？議員の方々の。
- 地域理解不足だと思う、分かっている議員さんの参加が必要。
- 野間川の水質について調べてほしい。
- 視点の設定が難しく、意見がはっきりしませんでした。
- 派手なもの、打ち上げ花火的な行事よりも、住民それぞれの名前と顔がわかるまちづくり、ソーシャルボンドをどう強めるか分かっているようで分からないので、ご指南いただきたい。
- 芳田地区は何もないところがいい所です。
- 議会報告会を地区でしなくてもよい。議会だよりの配布のみでよい。
- 議会、行政の縦割りがはっきりわかった。

<次回のテーマに>

- 活性化する為、人口減少を食い止め、人口増加につながるにはどうしたらよいか。
- 人口減に対する対策「消滅集落への問題」（会議再度あってよし）
- 限界集落に限りなく近づかないようにするには（高齢化社会）

●野村地区（担当：4班） 参加者数43名（アンケート回答37名）

61%の人が何らかの方法で議会を見たことがあると回答。

報告会を知ったのは、チラシが55%、防災行政無線が17%、市議会HPが9%。

【議会報告の部】

60%の人が肯定的評価をされているが、さらなる工夫で肯定的評価を高める努力が必要です。

<参加者からの意見>

- もっと簡潔でよい。
- 努力が見られた。
- 書いてあることは読めばいい、ポイントの説明を願いたい。
- 一つ一つの報告を詳しくやってほしい。

【意見交換の部】

61%の人が肯定的評価をされており、否定的な評価は少ない。「意見がどう活かされるのか興味を持った」という評価が一番多いので、今後の活動が注

視されると考えます。

＜参加者からの意見＞

- ・テーマが絞られてよかった。
- ・一人が出すぎ。
- ・出た意見は出来るだけ汲み上げてほしい。
- ・行政が課題にどう取り組み、議会がどうチェック、提言してきたか全く説明がなく残念。
- ・ガス抜きで終わらぬように。
- ・持ち帰られた意見の結果報告がほしい。

＜次回のテーマに＞

- ・文教地区と市駅整備＋企業誘致
- ・公共交通手段、交通弱者等（への対策）
- ・車を減らす（対策）
- ・西脇市駅総合開発

●西脇地区（担当：4班） 参加者数55名（アンケート回答29名）

61%の人が議会を見たことがないと回答

報告会を知ったのは、チラシが79%、その他が21%

【議会報告の部】

55%の人が否定的評価をされているので、反省とさらなる工夫が必要です。

【意見交換の部】

54%の人が肯定的評価をされているが、さらなる工夫で肯定的評価を高める努力が必要です。

「もっと議論を深めたいと思った」という評価が一番多いことから、時間的制約が肯定的評価を下げた可能性も考えられます。

＜参加者からの意見＞

- ・参加者の側にも工夫が必要。
- ・地区テーマについてもっと議論して欲しかった。
- ・意見交換だけでも良いからこのような機会を増やしてほしい。
- ・まだ人員が少ない。
- ・もっと建設的な意見交換があればよかったと思う。説明はわかりやすかった。
- ・議員のみなさんご苦労様でした。
- ・大変勉強になった。

＜次回のテーマに＞

- ・南北道路計画

次回の第9回議会報告会は11月中旬～下旬を予定しています。
多くの市民のみなさんの参加をお待ちしております。

第9回議会報告会 班編成
(2年間でほぼ全ての議員が全地区を1回は担当します)

	氏名	氏名	担当地区
1班	中川正則(班長)	松本和幸	重春地区
	村岡栄紀	古西祐子	比延地区
2班	村井公平(班長)	岩崎貞典	黒田庄地区
	浅田康子	東野敏弘	芳田地区
3班	高橋博久(班長)	村井正信	野村地区
	坂部武美	高瀬 洋	西脇地区
4班	寺北建樹(班長)	岡崎義樹	津万地区
	宮崎春貴		日野地区

— 西 脇 市 議 会 —

■西脇市議会HP

<http://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/gikaijimukyoku/index.html>

■西脇市議会フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/nishiwakigikai>

■西脇市議会事務局

677-8511 西脇市郷頼町605番地

TEL:0795(22)3111 内線302

FAX:0795(22)4301